



信頼・団結・前進

=新たな時代にさらなる挑戦=

くまもと

発行 九州旅客鉄道労働組合
熊本地方本部

熊本市中央区南熊本3丁目14番1号
電話 NTT 096-373-8911
JR 094-2345

発行責任者 濱田 享二
編集責任者 井手 正成
教育広報部

福利厚生推進担当から大切なお知らせ



福利厚生推進の取り組みとして、第一次取組期間を設定し、各種共済への加入・増口を呼びかけています。この機会にご自身の契約を見直しましょう！

取組期間：10月1日～11月30日
取組内容：交運共済の各種共済
あんしん切符（明治安田生命）
がん保険（アフラック）

本部が発行する「福利厚生だより」をご存知でしょうか？JR九州労組のホームページやLINEから閲覧でき、各種共済やろうきんの取り組みに関する情報が満載です。ご活用をよろしくお願いいたします！

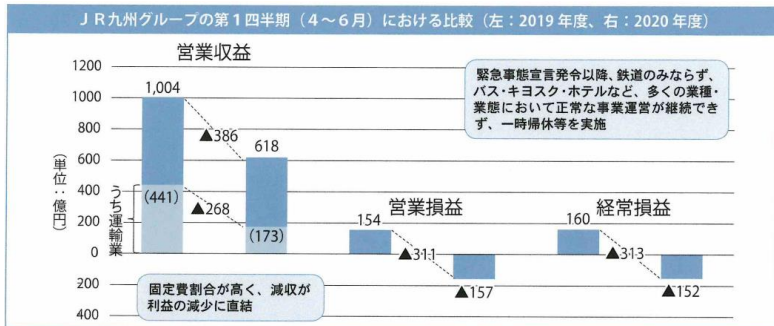
将来にわたって持続可能なJR産業へ

署名活動を展開中

新型コロナウイルス感染症の拡大は飲食・ホテル業界をはじめ、公共交通機関にも大きなダメージを与えました。JR九州グループも例外ではなく、通勤や観光のお客様が大幅に減少し、会社発足初の緊急事態に陥っています。

会社が9月24日に発表した通期業績予想によると、2021年3月期の連結純損益が284億円の赤字（前期は314億9500万円の黒字）に転落すると見込み、170億円（単体140億円、グループ30億円）程度のコスト削減を計画している模様です。

今月末までに1人5筆以上のご協力を！



会社は取り巻く厳しい状況を乗り切るため、初めての休業の実施に踏み切り、企画部門における時差出勤やテレワークなどを導入してきました。今までの常識やルールが大きく変化していく「激動の時代」を迎えているとも言えます。

こうした中、JR九州労組は組合員の雇用確保と労働条件維持を第一義に掲げてきました。仮に今の状態が長期化すれば、雇用や

肥薩おれんじ鉄道が11月1日運行再開

D&S列車「36ぷらす3」は運行時期未定



10月12日、第三セクターの肥薩おれんじ鉄道は、7月豪雨で不通になっている八代・佐敷駅間の運行を11月1日に再開すると発表しました。これにより、すべての不通区間が解消され、約4か月ぶりに全線が復旧することとなります。

同鉄道は7月豪雨で92箇所の被害を受け、中でも佐敷トンネル付近で発生した土砂崩壊により、約250メートルにわたり線路が土砂で覆われました。この間、関係者による懸命な復旧作業が続けられてきたところです。

なお、10月31日で代替バスの運行は終了します。また、貨物列車も通常運行に戻りますが、JR九州の新しいD&S列車「36ぷらす3」については線見等の教育が中断しており、運行時期は現時点未定となっています。

[写真は佐敷駅で出発を待つ肥薩おれんじ鉄道の車両]

新型コロナウイルス感染症を予防しよう！



手を洗うモン
#WashHands



換気をするモン
#OpenWindow



くっつかないモン
#KeepDistance

©2010 熊本県くまモン

労働条件への悪影響は避けられません。公共交通機関としての社会的使命を果たし続けることが困難な事態に陥ることも想定されます。

このようなことから、私たちが加盟する産業別労働組合・JR連合は「JR産業に関する緊急政策課題の解決を求める署名」の実施を決定し、11月下旬の関係省庁に対する要請行動で集約した署名を提出することとしています。

熊本地本は、JRグループの置かれた現状を多くの議員や働く仲間を知っていただく為、今回の署名に対する協力を広く呼びかけています。組合員の皆さんにおかれましては主旨をご理解のうえ、署名活動に対する「1人5筆以上」のご協力をお願いいたします。